

「第2次鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」 に基づく施策の実施状況（令和2年度）

1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上

（1）農林水産物の生産段階における安心・安全確保対策

ア 自主的な生産工程管理の取組の促進

① かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）の充実・普及

【かごしまの食ブランド推進室】

（ア）生産者への普及・啓発

各地域振興局・支庁が主体となって、生産者等へ認証制度の周知と取得に向けた推進指導、説明会、研修会等を開催

（イ）普及指導員によるGAP実践指導

生産者に対するGAP導入及び認証取得のための実践指導の実施
普及指導員のGAP指導技術向上のための研修受講
国際水準GAPガイドライン研修 6人受講

※令和3年3月末現在の認証件数：320件（63品目、272団体・個人等）

イ 生産資材、動物・水産用医薬品等の適正使用及び監視指導等の充実

② 農薬の適正使用の推進【経営技術課】

（ア）農薬指導士の養成

農薬指導士養成研修会等 ※令和3年3月末現在の農薬指導士：1,288人
（うち令和2年度の新規認定64人）

時 期	場 所	内 容	参加者数
10月7日	鹿児島市	○農薬指導士養成研修会 ・農薬取締法について ・毒物及び劇物取締法について ・農薬の取扱いについて	94人
9～10月	県内5か所 （鹿児島、南薩 北薩、始良伊佐、 大隅、	○農薬指導士更新研修会・農薬適正 使用推進研修会 ・農薬の適正使用について ・飛散防止対策について	261人

（イ）農薬適正使用推進啓発活動

適正な農薬使用を指導する際に必要な事項を指針として定め、啓発用ポスター等を配付

また、農薬の使用機会が多い6月から9月までを農薬適正使用推進期間と設定し、農薬販売店、農薬使用者等に対して、農薬の適正で安全な使用等を推進

③ 農薬の販売・管理・使用に関する監視指導【経営技術課】

農薬販売店等への立入検査

区 分	総 数	立入検査	比率(%)	備 考
販 売 店	1,112件	63件	5.7%	違反件数：12件 内容：変更届未提出等 (全て改善済み)
ゴルフ場	27件	9件	33.3%	
計	1,139件	72件	6.3%	

④ 肥料の生産や販売に関する監視指導【経営技術課】

(ア) 肥料取締法に基づく適正な登録及び届出指導

区 分	肥料の区分	新規件数	備 考
生 産	普通肥料	2件	県知事への登録分のみ 県知事への届出
	特殊肥料	32件	
販 売	—	76件	県知事への届出

(イ) 生産業者及び販売業者への立入検査

区 分	総 数	立入検査	比率(%)	備 考
生産業者	657件	5件	0.8%	違反件数：17件 内容：廃止届等未提出等
販売業者 (販売のみ)	1,296件	36件	2.8%	
計	1,953件	41件	2.1%	

⑤ 動物用医薬品の管理、販売等に関する監視指導【畜産課】

動物用医薬品の販売業者の立入検査及び品質検査

区 分	調査件数	備 考
動物用医薬品使用実態調査（農場）	39件	指導件数：0件
動物用医薬品調査（店舗での販売含む）	214件	指導件数：26件
動物用医薬品精密検査（成分検査）	2件	指導件数：0件

⑥ 飼料の安全性確保に関する普及、監視指導【畜産課】

地区講習会及び指導等

区 分	調査件数	備 考
地区講習会	10回	
巡回指導等	畜産農家202戸	
飼料の適正使用指導	延べ227戸	
県内の飼料販売業者等への立入検査	74回	指摘事項：12件

⑦ 水産用医薬品の適正使用の推進【水産振興課】

- ・水産用医薬品の適正使用研修（3回）

県内の魚類養殖業者及び漁協職員等に対し、「水産用医薬品の使用 33報（農林水産省消費・安全局発行）」について、水産用医薬品の適正使用に関する研修会を開催。



(水産用医薬品講習会)

ウ 環境保全への配慮

⑧ I P M（総合的病害虫・雑草管理）技術をはじめとした環境保全型農業の普及推進【経営技術課】

(ア) I P M実証展示ほ場の設置

I P M技術の普及を図るため、6品目、6か所でI P M技術を利用した実証展示ほ場を設置（指宿地域でのオクラにおける土着天敵の利用43%）

(イ) 土づくり研修会

堆肥投入等による土づくり及び排水対策の重要性を再認識するため、研修会を開催（1月15日、31人）



〈I P M実証展示ほ場(オクラ)〉



〈土づくり研修会〉

⑨ 家畜排せつ物の適正処理と堆肥の利活用促進【畜産課】

(ア) 家畜排せつ物の利用状況等を把握

畜産経営に起因する苦情発生状況調査や畜産有機物有効利用推進調査等を実施し、家畜排せつ物の利用状況等を把握

(イ) 畜産農家に対する巡回指導

家畜排せつ物の適正処理や堆肥の利用活用について巡回指導（延べ503戸）

⑩ 自然環境や生産環境の保全に配慮した特用林産物の栽培方法及び肥料の適正な使用方法などの情報提供【森林経営課】

(ア) 原木しいたけ・たけのこ生産者養成講座や栽培・経営指導

事 項	日 数	受講者数
かごしま原木しいたけ生産者養成講座	5日	17人
たけのこ生産者養成講座	3日	10人

(イ) 栽培技術指針に基づいた情報提供

⑪ 県内養殖場の水質や底質の調査及び魚類養殖協議会や研修会を通じた漁場改善計画等の養殖指導【水産振興課】

(ア) 養殖場環境調査

養殖漁協の調査結果の報告を受け水質、底質の改善指導
赤潮関連調査を県下全域で実施（調査回数：42回）

(イ) 魚類養殖協議会

漁場環境の正常化や健全な養殖業発展のための協議（2月12日～19日）

(ウ) 漁場改善計画の策定指導

適正養殖可能数量の設定等について指導（随時）

(2) 製造・加工，流通・販売段階における監視指導の充実
 県食品衛生監視指導計画等に基づく監視指導や食品の検査

⑫ 施設への立入検査（監視指導）【生活衛生課】

(ア) 食品の製造・加工施設への監視・指導

事 項	計 画	実 績	主 な 指 導 内 容
計画的な立入回数 を設ける業種	10,729件	12,869件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備，器具の衛生的維持管理 ・ 食品の保管や加熱の温度管理 ・ 従事者の手洗い 等
必要に応じて立 入る業種	—	4,974件	
計	10,729件	17,843件	

(イ) 既にHACCP等を導入している施設の衛生指導

種 別	導 入 施 設	指 摘 事 項
総合衛生管理製造過程 承認施設(HACCP)	乳処理施設(2施設)	指摘事項なし
	食肉製品製造施設(2施設)	
対EU輸出認定施設	魚介類取扱施設(1施設)	指摘事項なし
	食肉処理施設(4施設)	
対米輸出認定施設	魚介類取扱施設(2施設)	指摘事項なし
	食肉処理施設(4施設)	

⑬ 食品等の検査【生活衛生課】

(ア) 食品の添加物，成分規格基準，残留動物用医薬品，残留農薬その他検査

事 項	実 施 状 況	結 果 等
成分規格，食品添加物	891件	違反件数2件：大腸菌群陽性，
残留動物用医薬品，残留農薬等	411件	
指導検査	1,606件	
計	2,908件	

(イ) 食肉の検査

事 項	実 施 状 況	結 果 等
と畜検査	2,635,293頭	全部廃棄3,272頭(0.12%) [牛(356), 豚(2,911), 山羊(0), とく*(5)] *生後12か月未満の子牛 理由：敗血症，水腫，膿毒症，豚丹毒，牛伝染性リンパ腫等
食鳥肉検査	154,581,341羽	全部廃棄1,908,742羽(1.23%) 理由：大腸菌症，炎症等

⑭ 学校・社会保健福祉施設等集団給食施設の監視指導【保健体育課，生活衛生課】

(ア) 県衛生管理等研修会

時 期	場 所	内 容	参加者数
8月6日	県民交流センター	・講義「鹿児島県の食中毒発生状況等について」等 ・事例発表	263人

(イ) 学校給食の衛生管理等に関する調査研究の実施

(ウ) 学校給食用食品の食品検査

(エ) 給食施設に対する監視指導

事 項	目 標	実 績
食品衛生法に基づく給食施設（同一メニューを1回300食または1日750食以上調理し，提供する施設）に対する監視指導	100% (監視指導計画)	104%

⑮ いわゆる健康食品による健康被害防止のための買上検査【薬務課】

いわゆる健康食品など，強壮効果及び痩身効果を目的として使用される製品について，インターネットで買上調査を行い，環境保健センターで医薬品成分及び指定薬物の含有について試験検査を実施

事 項	検査品目数	医薬品成分及び指定薬物の検出
強壮剤	6品目	検出されず
痩身剤	4品目	検出されず

⑯ 水産物卸売市場における有毒魚介類等の流通監視【水産振興課，生活衛生課】

- ・卸売市場の実態調査及び監督指導
- ・流通が規制されているフグ等の情報収集・提供
有毒魚介類，貝毒及び流通が規制されている魚介類の情報を収集し，水産物卸売市場等へ提供
- ・県食品衛生監視指導計画等に基づく監視指導や食品検査の実施

(3) 消費段階における安全性の確保

⑰ 食の安心・安全の確保に関する基礎的な知識や情報の周知

【生活衛生課，かごしまの食ブランド推進室】

- ・食の安心・安全情報メールによる情報発信（食中毒予防等）（12回）
- ・ラジオによる情報発信（「HACCPに沿った衛生管理」の制度化）（1回）

(4) HACCPによる衛生管理の推進及び工程管理導入の促進

⑱ 食品関連事業者へのHACCPを活用した管理の普及【生活衛生課】

- ・衛生教育実績のうち，HACCPにかかる講習会の実施回数（272回）

⑲ 畜産関連施設への衛生管理ガイドライン等の徹底及びHACCP方式を活用した管理の普及【畜産課】

- ・畜産農家の全戸立入による飼養衛生管理基準の遵守状況調査の実施

家畜	対象農場	立入農場
牛	7,504件	6,004件
豚	562件	497件
家きん	881件	881件

- ・HACCP方式を活用した管理の普及を各地域で実施
HACCP認証農場 18農場
(内訳 肉用牛：3農場、豚：12農場、採鶏卵：3農場)

⑳ 衛生管理型の水揚施設の整備支援や自主的衛生管理への取組促進【水産振興課】

- ・衛生管理型市場の整備及び自主的衛生管理への取組についての助言やEUの衛生管理基準をクリアしたEU登録養殖場の監視・指導

㉑ HACCP等高度な衛生管理手法に対応できる人材の育成【生活衛生課】

- ・HACCP指導者養成研修会(厚生労働省主催)に食品衛生監視員を派遣(5人)
- ・検査機関等の検査支援事業における研修会(HACCP指導者養成コース)
(厚生労働省主催)に食品衛生監視員が参加(1人)
- ・検査機関等の検査支援事業における研修会(HACCP上級指導者養成コース)
(厚生労働省主催)に食品衛生監視員が参加(5人)

(5) トレーサビリティの推進

㉒ 米及び牛トレーサビリティ制度の適正運用

【かごしまの食ブランド推進室、畜産課】

品目	実施状況等
米	米穀事業者等に対する研修会や実態調査等による「米トレーサビリティ制度」の普及啓発(実態調査：3回/年)
畜産	牛トレーサビリティ制度に基づき、国と連携して畜産農家に対する啓発・普及

㉓ 茶れきくんの導入促進【農産園芸課】

- ・トレーサビリティシステム等の推進状況

品目	実施状況等
茶	“茶れきくん”(県経済連による取組)の導入推進(301工場) 生産履歴開示請求点数 33,483点 → 生産履歴報告平均日数 2.7日

(6) 食の安心・安全の確保に向けた調査・研究等の推進

⑳ 環境と調和した農業の推進を図るため、化学肥料や化学合成農薬のみに頼らない病害虫防除技術や施肥管理技術の開発等【経営技術課】

・環境と調和した農業技術の開発

実施した研究の内容	実 績
化学合成農薬の使用量低減に向けた技術の開発	捕食性土着天敵であるテントウムシ類、ヒラタアブ類、ヒメハナカメムシ類の天敵温存植物として春期に有効な草種の解明（ヘアリーベッチ、シロガラシ、クリムゾンクローバー等）

㉑ 水産用医薬品の使用低減のための養殖技術の開発【水産振興課】

・外部寄生虫による疾病対策の研究

実施した調査研究の内容	実 績
ブリ類養殖で問題となっているハダムシ寄生に対する抑制手法の探索	天然素材を添加した固形配合飼料をカンパチに給餌し、薬剤に頼らずにハダムシ寄生を抑制する試験を実施。

㉒ 食品等に起因する様々な問題についての解決法や再発防止策を得るための調査・研究【生活衛生課】

・食品等に関する調査・研究

調査・研修事例数	実 績
7 課題	2 課題は、全国食品衛生監視員研修会で誌上発表 ・イワシ丸干品の製造におけるヒスタミン生成菌及びヒスタミン蓄積管理に関する一考察 ・消毒用アルコールスプレーの管理実態について

2 食品表示の適正化による消費者への的確な情報の伝達・提供

(1) 食品表示の適正化の推進

㉓ 食品表示関係法令の周知【かごしまの食ブランド推進室、生活衛生課、健康増進課、消費者行政推進室、計量検定所、薬務課】

(ア) 食品表示に関する法令の普及啓発のための食品関連事業者等に対する研修会

(食品表示法)

内 容	回 数
・食品表示法（品質事項）に関する研修会の開催、事業者主催の勉強会等への講師派遣	11回
・食品表示法（保健事項）に関する研修会の開催、事業者主催の勉強会等への講師派遣	2回
・衛生教育のうち、食品表示法（衛生事項）に関する講習会	121回

(景品表示法)

・事業者向けコンプライアンス研修会

時 期	場 所	内 容	参加人数
1月14日	ホテル自治会館	景品表示法の基本的な考え方と違反事例及び鹿児島県での相談事例	42人

・事業者等からの講師派遣依頼への対応

内 容	回 数
景品表示法の講師派遣	0回
計量法の講師派遣	0回

(イ) 食の安心・安全情報メールによる周知 (24回/年)

⑳ 食品表示に関する相談対応【かごしまの食ブランド推進室, 生活衛生課, 健康増進課, 消費者行政推進室, 計量検定所, 薬務課】

(ア) 食品表示110番の受付状況 (消費者行政推進室)

事 項	件 数	内 容
食品表示110番	893件	相談 (864件), 情報提供 (29件)
食品表示指導員	1回	研修会等への対応

(イ) 食品表示法 (品質事項) に関する食品表示相談等への対応

(かごしまの食ブランド推進室)

事 項	実 施 状 況
食品表示法 (品質事項) に関する食品表示相談等への対応	261件 (うち相談237件, 情報提供24件)

(ウ) 食品表示法 (衛生事項) に基づく食品表示状況 (生活衛生課)

事 項	実 施 状 況
食品表示法 (衛生事項) 関係食品表示相談等への対応	99件

(各保健所での相談件数を含まず)

(エ) 食品表示法 (保健事項) 及び健康増進法に関する相談等への対応

(健康増進課)

事 項	消費者	事業者	計
相談件数	1件	353件	354件

(オ) 食品に対する医薬品的な効能効果の表示状況 (薬務課)

区 分	相 談	監視指導	計
件 数	20件	8件	28件

(カ) 景品表示法に基づく食品表示状況 (消費者行政推進室)

区 分	件 数	内 容
相談等	114件	優良・有利誤認表示等

(キ) 計量法に基づく食品表示状況 (計量検定所)

区 分	相 談	情報提供	計
件 数	91件	0件	91件

(2) 食品表示に関する監視, 指導

⑳ 食品表示実態調査等の実施【かごしまの食ブランド推進室, 消費者行政推進室, 生活衛生課, 健康増進課, 薬務課, 計量検定所, 農政課, 農産園芸課, 畜産課, 水産振興課, 森林経営課】

(ア) 食品表示法 (品質事項) に基づく食品表示実態調査

(かごしまの食ブランド推進室)

事 項	実 施 状 況
食品関連事業者に対する食品表示実態調査	253件 (適正表示率96.1%)

(イ) 食品表示法 (衛生事項) に基づく食品表示状況 (生活衛生課)

表示違反件数	違反の内容
1件	違反件数1件: アレルギー表示の欠落

(ウ) 計量法に基づく商品量目立入検査状況 (計量検定所)

事 項	検査件数	検査個数	適 正 表示率 (%)	不適正表示の概要
スーパー等の内容量表記商品(食品類)の立入検査 (権限移譲市を含む)	120件	7,189個	98.0%	表示量に対する許容誤差を超えた内容量の不足



〈食品表示に関する研修会〉



〈食品表示実態調査〉

(エ) 景品表示法に基づく食品表示状況 (消費者行政推進室)

区 分	件 数	内 容
指 導	1件	優良誤認表示

(3) 消費者の理解促進

⑳ 消費者の食品表示に関する理解促進【消費者行政推進室, 計量検定所】

(ア) 食の安心・安全情報メール (食品表示及び景品表示法 (食品関係) に関する情報) を配信 (5回)

(イ) 商品量目調査会及び計量教室
商品量目調査会 (2回), 計量教室 (2回)

3 農林水産物の病気や害虫のまん延防止による食料の安定供給

(1) 各種疾病・病虫害等の発生防止対策の推進

⑳ 農作物栽培における病虫害の適期防除の推進【経営技術課】

(ア) 病虫害発生予察情報の発表

内 容	回 数
定期的な発生予報の発表	12回
警報(0回), 注意報(3回), 特殊報(4回)の発表	7回
技術情報の提供	14回

(イ) 各種広報媒体を活用した病虫害発生予察情報の発信

内 容	回 数
病虫害防除所ホームページ	年間
新聞(農作物病虫害情報)	12回
電話(病虫害防除情報テレホンサービス)	年間

㉑ 家畜の各種疾病の発生動向の把握, 防疫指導, 検査等の実施【畜産課】

(ア) 家畜の各種疾病の実態調査

家畜の各種疾病の発生状況を把握
(抗体検査や立入検査, 病性鑑定を実施(通年))

内 容	件 数
家畜伝染病の発生	3件
届出伝染病の発生	505件

(イ) BSE検査等の実施

- ・ BSE対策特別措置法に基づく検査
死亡牛のBSE検査の実施状況: 1,548頭
- ・ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止対策
高病原性鳥インフルエンザモニタリング調査の実施状況: 414戸

㉒ 魚病の防疫指導及び各種疾病の実態調査【水産振興課】

(ア) 魚病の防疫指導(養殖用輸入種苗の監視)

輸入種苗の導入後の魚病検査

内 容	回数及び件数
巡回指導及び講習会	9回
検査実績	103件

※寄生虫について, 腹腔内の胃周辺部を中心にアニサキスの有無を検査したが, アニサキス等の人へ直接的な害を与える寄生虫や細菌はみられなかった。

(イ) 魚病の防疫指導(各種疾病の実態調査)と水産用医薬品の適正使用の推進

・ 魚病診断, 巡回指導

内 容	回数及び件数
巡回指導実績	海面養殖: 13回, 内水面養殖: 9回
魚病診断件数	海面養殖: 474回, 内水面養殖: 39回

(ウ) 水産用医薬品の適正使用研修

内 容	回 数
水産用医薬品の適正使用に関する研修会 (対象：養殖業者及び漁協職員)	3回

(2) 危機管理体制の整備

- ③④ **・各種疾病等に関する危機発生事案毎のマニュアルに基づく対応**
・平時からの情報の共有化や連携の強化による事案発生の未然防止と事案発生時の迅速かつ適切な対応【畜産課，経営技術課，消費者行政推進室】

口蹄疫，CSF及び高病原性鳥インフルエンザといった，万が一，発生すると地域社会に大きな影響を及ぼす家畜伝染病については，発生時の防疫対策等を定めた防疫対策マニュアルを策定し，迅速な初動防疫対応が行えるよう防疫演習を実施。

また，防疫対策会議の随時開催やメールマガジンによる発生情報の提供等により，関係者に注意喚起を行うことで防疫意識の共有を図るとともに，県内において家畜伝染病の発生又は発生のおそれがある場合に，迅速，適確な防疫業務が実施できるよう，県関係機関における動員体制の構築や，関係団体と緊急防疫業務等に関する協定を締結

内 容	回 数	人数
防疫対策会議（口蹄疫）	6回 （4月～10月）	192人
防疫対策会議（高病原性鳥インフルエンザ）	7回 （10月）	251人
防疫対策会議（CSF等）	24回 （4月～1月）	768人
防疫演習（口蹄疫）	14回 （7月～2月）	683人
防疫演習（高病原性鳥インフルエンザ）	16回 （7月～1月）	1,003人
防疫演習（CSF）	9回 （10月～3月）	375人

4 県民をはじめとした関係者との情報・意見交換と信頼の確保

(1) 食の安心・安全の確保に向けた生産者・食品関連事業者の取組に関する情報発信

- ③⑤ **かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）の認知度向上**
【かごしまの食ブランド推進室】

(ア) ツイッター等SNSを活用した制度の周知

- ・発信回数：17回／年
- ・投稿内容：K-GAP認証状況及び認証品目の紹介等

(イ) K-GAP認証品のPR協力店の登録拡大

フェア等を通じ，K-GAPのPRを行う協力店の登録を推進（325店舗）

③⑥ かがしまブランド産品をはじめとした県産農畜産物の認知度向上に向けた取組
【かがしまの食ブランド推進室】

・ かがしまブランド産品等の販売促進活動

内 容	取 組 概 要
① 宣伝販売	○ 県内外の量販店等における県産農産物の販売促進活動 (東京・名古屋・大阪・福岡, 香川, 鹿児島)
② 高級果物店と連携した P R イベント	○ かがしまブランド産品「大将季」や「きんかん」等の宣伝販売 ○ フルーツパーラーやレストランでのメニューの提供 ○ オンラインを利用した産地 P R (東京)
③ G A P レストランでの P R イベント	○ K-G A P 等認証食材を使ったメニューの提供及び SNS 等を活用した情報発信 (東京)
④ G I 登録産品の P R	○ 桜島小みかん, 鹿児島黒牛, 辺塚だいたいえらぶゆり

・ 「かがしまの食ウェブサイト」等を活用した「かがしまブランド産品」の情報発信

内 容	回 数
農産物の出荷等の産地情報や量販店でのフェア等のイベント情報	71回

③⑦ 「かがしま畜産の日」の活動を通じた生産者と消費者の相互交流, 理解促進
【畜産課】

・ 体験学習会や出前授業等

内 容	回 数	人 数
かがしまの畜産出前授業	12回 (6月～2月)	505人
県産畜産物の安心・安全の P R と消費拡大キャンペーン等	1回 (11月7日～8日)	約6,500人



〈出前授業〉



〈消費拡大キャンペーン〉

③⑧ 「かごしまのさかな」ブランド認定魚の認知度向上【水産振興課】

- ・各種フェア等でのPR

内 容	月 日
・鹿児島フェア（愛知県）	4月3日～5日
・鹿児島フェア（京都府）	10月2日～5日
・鹿児島フェア（福岡県）	10月8日～11日
・鹿児島フェア（宮城県）	3月26日～28日
・鹿児島フェア（千葉県）	2月20日～23日
・鹿児島フェア（埼玉県）	3月5日～7日
・鹿児島フェア（埼玉県）	3月17日～21日

③⑨ 安心・安全な特用林産物の認知度向上【森林経営課】

- (ア) 各種フェア等を通じたPR・普及

内 容	月 日
「かごしま原木しいたけフェア」	10月13日～10月16日
「森のごちそうコンクール」	11月7日
「原木しいたけ・たけのこ祭」	12月19日～12月20日

- (イ) 学校給食への食材提供及び学習活動

小中学校等を対象とした、学校給食へのしいたけ及びたけのこの提供及びしいたけの栽培方法や特性についての学習活動（食材提供23校）



〈原木しいたけ・たけのこ祭〉



〈森のごちそうコンクール〉

④⑩ 食品関連事業者の食の安心・安全に対する取組の情報発信【かごしまの食ブランド推進室，農産園芸課，畜産課】

食の安心・安全情報メールを活用した食品関連事業者の取組の情報発信
 （食の安心・安全情報メールによる情報発信 12回／年）

(2) 食の安心・安全の確保の推進を担う人材の育成

④⑪ 地域における食の安心・安全の確保に係る正しい理解の浸透に寄与する人材の育成【かごしまの食ブランド推進室】

食の安心・安全推進パートナー募集・登録のため，県ホームページへの掲載や各研修会においてチラシを配付

（食の安心・安全推進パートナー※ 1,118人（令和3年3月末））

※食の安心・安全の確保に関心のある団体・企業・個人で県に登録した者

④② 農業者や食品関連技術者など食の安心・安全の確保を図る人材の育成
【かごしまの食ブランド推進室】

農業者や食品加工事業者等を対象に「食のプロデューサー育成セミナー」を開催し、農産物加工の基礎技術をはじめ、農薬の適正管理や食品の衛生管理、適正な食品表示方法などを講義し、人材を育成
 (食のプロデューサー育成セミナー開催 1回, 16人)

(3) 健康への被害(まん延)防止対策

④③ 自主回収報告制度を活用した健康被害防止対策【生活衛生課】

自主回収報告受理件数	4
内 容	表示の誤り
	異物混入

④④ 健康被害防止情報をはじめとする各種情報の収集及び整理と正確かつ適切な情報の提供【生活衛生課, 消費者行政推進室, 健康増進課】

- ・消費者安全法に基づく消費者事故や重大事故等の情報収集及び情報提供
- ・県ホームページによる情報提供(食中毒関連情報等)
- ・食品衛生情報リーフレットの作成・配布

(4) リスクコミュニケーションの推進

④⑤ 食の安心・安全の確保に関する基礎的な知識や情報の周知

- ・生産者, 食品関連事業者, 県民その他の関係者間における情報の共有と意見交換の場の提供【かごしまの食ブランド推進室, 生活衛生課, 消費者行政推進室, 農政課】

(ア) GAP推進セミナー

時 期	場 所	内 容	参加者数
2月3日	オンライン開催	講演 1. 「GAPの重要性とGAP認証の今後の動き」 荻野宏氏(一般財団法人日本GAP協会) 2. 「GAP取組事例紹介」 山下義仁氏(有限会社 大崎農園)	30人

(イ) 有機農業セミナー

時 期	場 所	内 容	参加者数
2月16日	鹿児島県青少年会館	1 本県の有機農業の現状や取組について 2 有機JASの拡がりや学校給食 3 講演 「有機農業の未来～生産から販売まで携わって分かったこと」 農業生産法人そのやま農園株式会社 代表取締役 園山宗光氏	75人

(ウ) 食の安全を学ぶ基礎講座

食品の安全を守る仕組み，食品添加物や農薬，食品表示などの基礎知識を学ぶ短大生を対象とした基礎講座の開催

時 期	場 所	内 容	参加者数
11月20日	鹿児島女子短期大学	・食の安心・安全の確保に関する基礎知識	45人

(エ) 食品衛生責任者講習会

開催時期	場所・回数	内 容	参加者数
7月 ～3月	県内13か所 (日置市，南さつま市，指宿市，薩摩川内市，出水市，霧島市，伊佐市，志布志市，鹿屋市，西之表市，屋久島町，奄美市，徳之島町) 計36回	・食品衛生の法律と行政について（衛生法規） ・環境衛生と健康について（公衆衛生学） ・食中毒予防と衛生管理について（食品衛生学）	1,209人



〈食の安全を学ぶ基礎講座〉

④⑥ 正確な情報の伝達や情報の共有及び意見交換を自主的に行う取組の推進

【かごしまの食ブランド推進室，消費者行政推進室】

・食の安心・安全推進パートナーが自主的に取り組む「地域リスクコミュニケーション」への支援

時 期	実施主体 (食の安心・安全推進パートナー)	場 所	内 容	参加者
8月19日	鶏の生食加工業者協議会 (南九州市)	WEB開催	「鳥刺しの安全な加工と販売を行う」為の衛生講習会	13人
10月25日	NPO法人霧島食育研究会 (霧島市)	ほたる醸造，フォンタナの丘	地域食材の生産・加工におけるリスクコミュニケーション研修	14人

(5) 健康増進に関する施策との連携

④⑦ 健康かごしま21の推進【健康増進課】

- ・適切な食生活習慣の普及・定着
- ・産業界との連携による食環境の整備

「食塩少なめ」「脂質控えめ」「野菜たっぷり」で家庭用レシピを掲載した「かんたんヘルシー減塩レシピ集」を情報メールやホームページを活用し，普及を図った。

- (ア) 食の健康応援店の登録を推進
かごしま食の健康応援店登録店舗数 757店舗（令和3年3月末）
- (イ) 食生活改善推進員による栄養・食生活に関する普及啓発
普及啓発の人数 22,021人（令和3年3月末）

（6）食育に関する施策との連携

④⑧ ・「家庭」,「学校, 保育所等」,「地域, 職域等」における食育の推進 ・すべての県民を対象とした幅広い食育の推進【農政課】

事 項	実 施 状 況
食育支援体制における食育支援	支援実施校(幼稚園, 保育園, 小中学校等) 71校 (3,351人) 支援回数 124回
食と農の指導者研修(再掲)	1回, 11人
かごしま版食事バランスガイドの普及	バランスガイド活用教材の作成
食育シニアアドバイザーの登録・派遣	4人登録, 4回派遣
かごしま生き生き食の日のPR (毎月第3土曜日)	県HPや各種イベント等でのPR
市町村食育推進計画の策定促進	41市町村策定
かごしまの“食”交流推進セミナー	68人



〈食と農の指導者研修〉



〈かごしまの“食”交流推進セミナー〉

（7）地産地消に関する施策との連携

④⑨ 量販店, 直売所など県産農林水産物の販売拠点の充実強化など, 「かごしまの“食”交流推進計画」に基づく地産地消の推進【農政課】

- (ア) かごしま地産地消推進店の登録推進
登録店舗数 (793店舗 (令和3年3月末))
- (イ) 学校給食等における地域食材供給ネットワークの構築
 - ・地域における地産地消システム検討会の開催 (7地域 37か所)
- (ウ) 県民への情報発信
 - ・県ホームページ等による地産地消推進店等の情報発信
 - ・地産地消推進サポーターへの情報発信

5 食の安心・安全の確保に向けた推進体制の整備

(1) 「鹿児島県食の安心・安全推進委員会（企画推進部会）」の運営

⑤0 基本計画等の進捗状況の評価【かごしまの食ブランド推進室】

施策の進捗状況について、県食の安心・安全推進委員会（企画推進部会）において、評価・点検を行い、県ホームページにて公表した。

また、第3次食の安心・安全推進基本計画の策定について意見を聴取した。

- (ア) 県食の安心・安全推進委員会の開催（令和2年10月26日、令和3年2月15日）
 - ・第3次食の安心・安全推進基本計画の策定について
 - ・県食の安心・安全推進条例（自主回収報告）の一部改正について
 - ・環境保全型農業直接支払交付金の事業評価について
- (イ) 県食の安心・安全推進委員会企画推進部会の開催（令和2年8月4日）
 - ・食の安心・安全推進基本計画に基づく施策の実施状況（令和元年度）等について
 - ・第3次食の安心・安全推進基本計画の策定について
 - ・県食品衛生監視指導計画について

(2) 危機管理体制の整備

⑤1 ・食に関する危機発生事案毎のマニュアル等に基づく対応 ・平時からの情報の共有化や連携の強化による事案発生未然防止と事案発生時の迅速かつ適切な対応【生活衛生課、健康増進課、薬務課、消費者行政推進室、かごしまの食ブランド推進室】

- (ア) 他自治体における発生事案情報の共有化
- (イ) 消費者事故や重大事故等の情報収集及び情報提供

(3) 国、他の都道府県、市町村その他の関係機関・団体との連携

⑤2 ・内閣府食品安全委員会、消費者庁、厚生労働省、農林水産省など国との連携 や他都道府県との連携【かごしまの食ブランド推進室、生活衛生課】 ・県内市町村等との連携

「九州・山口地域食の安全安心連携会議」（福岡県）等による情報収集や連携

※コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度は書面開催

「第2次鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」(平成28～令和2年度)

数値目標に対する令和2年度実績等

令和2年度 目標達成数: 37/64 項目

●主な指標

取組内容	指標数	参考となる指標	H26	実績(R2)	目標(R2)	目標対比(実R2/目R2)	
1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上	①	1	●かごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)における認証件数	289件	320件	300件	107%
	②	2	○農薬販売店における農薬指導士設置割合(農薬指導士数/農薬販売店数)	32.4%(423/1,306)	56.1%(624/1,113)	80%	70%
	③	3	○農薬販売店における農薬指導士設置割合(農薬指導士数/農薬販売店数)	32.4%(423/1,306)	56.1%(624/1,113)	80%	70%
		4	○農薬販売店等への立入検査数(違反件数割合)	(H22～H26平均)463件(17.5%)	63件(19.0%)	違反件数割合10%	53%
	④	5	○肥料の生産及び販売業者への立入検査数	64件	41件	70件	59%
		6	○肥料取締法違反件数	0件	17件	0件	-%
	⑤	7	○動物用医薬品使用実態調査の実施状況	10件	39件	30件	130%
		8	○不良医薬品調査の実施状況(動物用医薬品販売業者等の許可数に対する割合)	39%	63%	50%	126%
	⑥	9	○飼料の製造・販売及び使用等に関する立入検査・巡回点検指導件数(飼料製造・販売業者等に対する割合)	302件(2.6%)	276件(2.9%)	301件(4.4%)	92%
		10	○飼料の製造・販売等の不適正な事例件数	0件	0件	0件	100%
	⑦	11	○水産用医薬品適正使用指導等研修会の開催回数	3回	3回	3回	100%
	⑧	12	●オクラ栽培におけるIPM技術(土着天敵利用)の活用割合(対象産地:JAいぶすき)	(H27)4%	43%	70%	61%
	⑨	13	○県畜産有機物有効利用推進調査による家畜排せつ物の利用状況(適正処理仕向率)	5,685千t(91%)	実績未確定	6,038千t(98%)	-%
	⑩	14	○たけのこ生産者養成講座の開催回数	1回	1回	1回	100%
		15	○原木しいたけ養成講座の開催回数	1回	1回	1回	100%
	⑪	16	○赤潮モニタリング調査の実施状況	37回	42回	38回	111%
		17	○赤潮情報の発信	28回	46回	30回	153%
		18	○漁場環境調査の実施状況	100%	100%	100%	100%
	⑫	19	●標準的な立入回数を設ける業種(施設)への監視指導(計画に基づく達成率)	99.8%	120%	100%	120%
	⑬	20	○食品の添加物,成分規格基準,残留動物用医薬品,残留農薬などの検査(計画に基づく達成率)	104%	62%	100%	62%
	⑭	21	○給食施設に対する監視指導(計画に基づく達成率)	93.5%	104.0%	100%	104%
	⑮	22	○いわゆる健康食品買上検査の継続実施	数値目標なし			
⑯	22	○水産物卸売市場への実態調査	56件	55件	56件	98%	

	取組内容	指標数	参考となる指標	H26	実績 (R2)	目標 (R2)	目標対比 (実R2/目標)
1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上	⑰	23	○各種広報媒体を活用した情報発信回数 (食品の衛生管理等に関する知識や情報)	2回	13回	4回	325%
	⑱	24	●HACCP導入のための講習会実施回数	30回	272回	80回	340%
	⑲	25	○飼養衛生管理基準立入検査の実施状況 (対象農場に対する割合)	9,373戸 (80%)	7,382戸 (83%)	全戸 (100%)	83%
		26	○HACCP認証農場数 (畜産)	5農場	18農場	10農場	180%
	⑳	27	○水産衛生管理型の水揚施設の衛生管理状況実態調査	56件	55件	56件	98%
	㉑		○食品衛生監視指導員の確保	数値目標なし			
	㉒	28	○米トレーサビリティ実態調査回数	4回	4回	4回	100%
	㉓	29	○茶れきくんの県内茶工場導入数	303工場	301工場	(H29) 400工場	75%
	㉔	30	○環境と調和した農業の推進を支える技術の情報提供数	(H22~H26)	(単年度) 6件	(単年度) 3件	280%
				8件	(H28~R2) 42件	(H28~R2) 15件	
㉕	31	○医薬品使用低減に向けた養殖技術に関する講習会の実施回数	3回	3回	3回	100%	
㉖	32	○食品等に起因する様々な問題についての調査・研究事例数	4題	7題	4題	175%	

	取組内容	指標数	参考となる指標	H26	実績 (R2)	目標 (R2)	目標対比 (実R2/目標)
2 食品表示の適正化による消費者への的確な情報の伝達・提供	⑳	34	○食品表示関係法令のメールマガジンによる周知	12件	24回	24件	100%
	㉑		○食品表示相談への迅速な対応	数値目標なし			
	㉒	35	●食品表示法(品質事項)に基づく食品表示の適正表示率	91.7%	96.1%	92%	104%
				7,303個	7,189個	7,000個	103%
	㉓	36	○商品量目立入検査の検査個数	5自治体	0自治体	5自治体	0%
	㉔	38	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信回数 (景品表示法等に関する知識や情報)	—	5回	4回	125%

	取組内容	指標数	参考となる指標	H26	実績 (R2)	目標 (R2)	目標対比 (実R2/目標)
3 農林水産物の病気や害虫のまん延防止による食料の安定供給	㉕	39	○病害虫発生予察情報件数	20件	33件	22件	150%
	㉖	40	○死亡牛のBSE検査の実施状況	対象牛全頭	1,548頭	1,800頭	86%
		41	○高病原性鳥インフルエンザ等に関するモニタリング検査の実施状況	対象農家全戸	414戸	426戸	97%
	㉗	42	○巡回指導及び講習会の回数 (魚病の防疫指導, 各種疾病)	巡回指導31回	22回	巡回指導10回	220%
				講習会3回	3回	講習会3回	100%
	㉘	43	●養殖衛生管理指導を行った養殖経営体数/全経営体数	60% (365/605)	70% (324/463)	55%	127%
	㉙	44	●防疫演習の実施件数 (口蹄疫, 高病原性鳥インフルエンザ)	20件	33件	20件	165%

	取組内容	指標数	参考となる指標	H26	実績 (R2)	目標 (R2)	目標対比 (実R2/目R2)	
4 県民をはじめとした関係者との情報・意見交換と信頼の確保	③⑤	45	○OK-GAP PR協力店の拡大	17店舗	325店舗	85店舗	382 %	
	③⑥	46	○「かごしまの食ウェブサイト」を活用した情報の発信件数（累計）	140件	724件	440件	165 %	
		47	○かごしまの畜産体験学習会の開催回数	1回	0回	1回	0 %	
	③⑦	48	○畜産出前授業の開催回数	7回	12回	10回	120 %	
		49	○県産畜産物の安心・安全のPRと消費拡大キャンペーン等の開催回数	2回	1回	2回	50 %	
	③⑧	50	○「かごしまのさかな」認知度向上にかかる、展示会等における啓発取組回数	11回	7回	11回	64 %	
	③⑨	51	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数（特用林産物（しいたけ等）に関する事）	8件	5件	12件	42 %	
	④⑩	52	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信回数（食品関連事業者の取組に関する事）	—	12回	6回	200 %	
	④⑪	53	●食の安心・安全推進パートナー登録数	651人	1,118人	1,000人	112 %	
	④⑫	54	○食のプロデューサー育成セミナー参加者数（累計）	—	178人	180人	99 %	
	④⑬		○自主回収報告制度の適正運用	数値目標なし				
	④⑭	55	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信回数（健康被害防止情報に関する事）	7回	12回	10回	120 %	
		56	○食の安心・安全推進パートナーへの情報提供回数	2回/月	2回/月	2回/月	100 %	
	④⑮	57	●セミナー等への参加者数（リスクコミュニケーションの推進）	(H23～26計) 9,152人	(単年度) 1,585人 (H28～R2計) 9,693人	(単年度) 2,400人 (H28～R2計) 12,000人	81 %	
	④⑯	58	○地域におけるリスクコミュニケーションに関する研修会等の開催回数	3回	2回	6回	33 %	
		59	○1日当たりの食塩の平均摂取量	(H24) 10.3g	調査なし	(H34) 8g未満	— %	
	④⑰	60	○1日当たりの野菜の平均摂取量	(H24) 286g	調査なし	(H34) 350g以上	— %	
		61	○かごしま食の健康応援店	758店舗	757店舗	(H34) 1,000店舗以上	76 %	
	④⑱	62	●食育の推進に関わるボランティア数	(H27) 7,805人	10,242人	10%以上増	131 %	
④⑲	63	○学校給食における地場産物（重量ベース）の利用割合	70%	64%	70%以上	91 %		

	取組内容	指標数	参考となる指標	H26	実績 (R2)	目標 (R2)	目標対比 (実R2/目R2)	
5 食の安心・安全の確保に向けた推進体制の整備	⑤⑩	64	○施策の進捗状況の公表	1回	1回	1回	100 %	
	⑤⑪		○危機管理体制の適正運用	数値目標なし				
	⑤⑫		○国等との連携強化	数値目標なし				